

本紹介「プログラマー脳」

大谷紗良

こんにちは、大谷 紗良です

Software Engineer, Backend

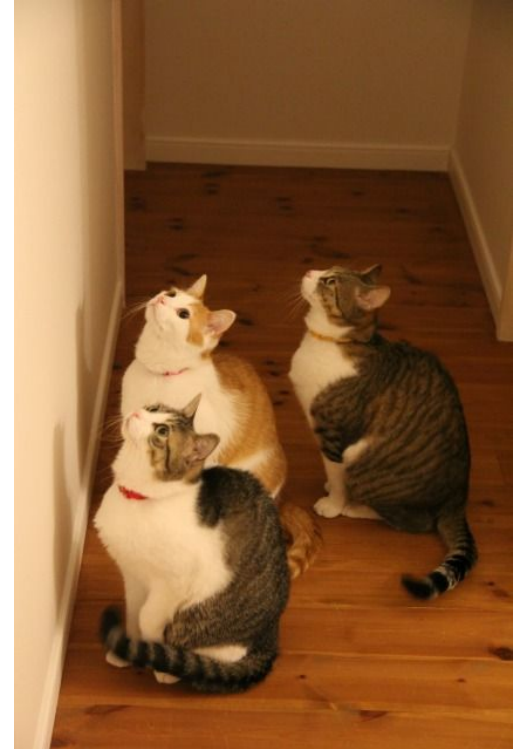
2022/10/1 RevComm入社

- 増えていく積本をどうにかしたい
- amazonのキャンペーンに日々踊らされてる
- というわけで今日は本紹介



毎日思ってること

すごつよエンジニア
なんか違う世界見えてない？



しかし直接きいてもすごつよエンジニアたちは
あまり自覚がない様子



逆に何が見えてないんだ
こいつには

どういふ思考の流れなのか気になる・・・

それっぽい本あるな・・・ホチッ 🤪

- 2023/2/16 発売
- 著者 フェリエヌ・ヘルマンズ博士
 - オランダのライデン大学准教授
 - プログラミング教育、プログラミング言語の研究をしている(認知科学のひとつではないらしい)

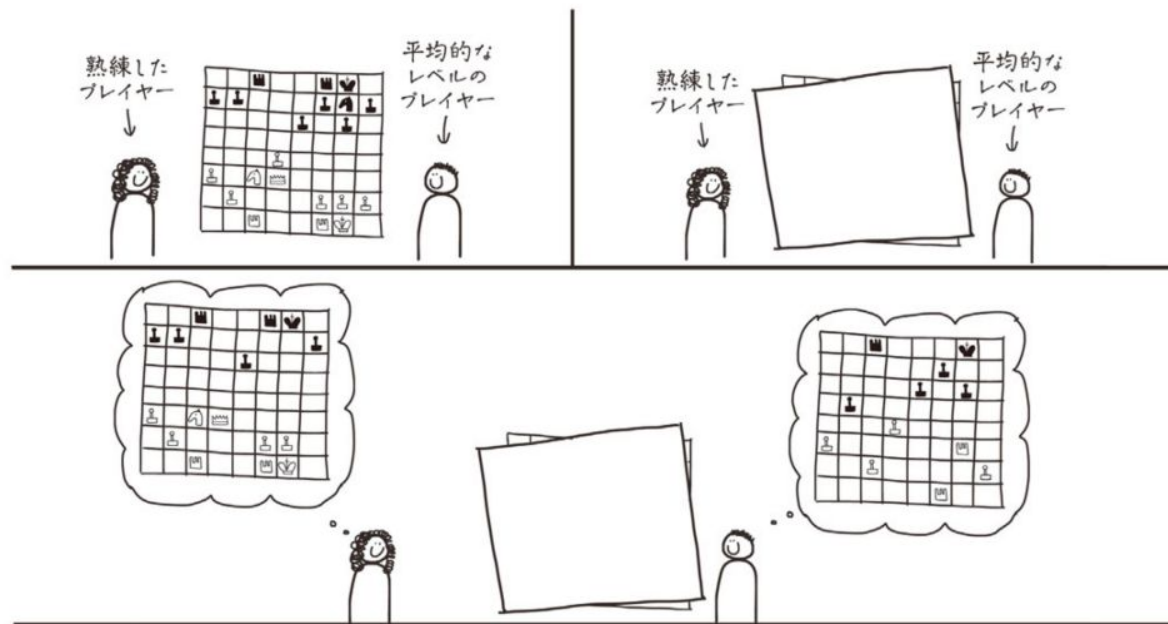
どうやらすごつよエンジニアの脳の働きは
どうなってるか解説しており
それを踏まえた演習で訓練もできる本らしい



読んでみてどうだったか

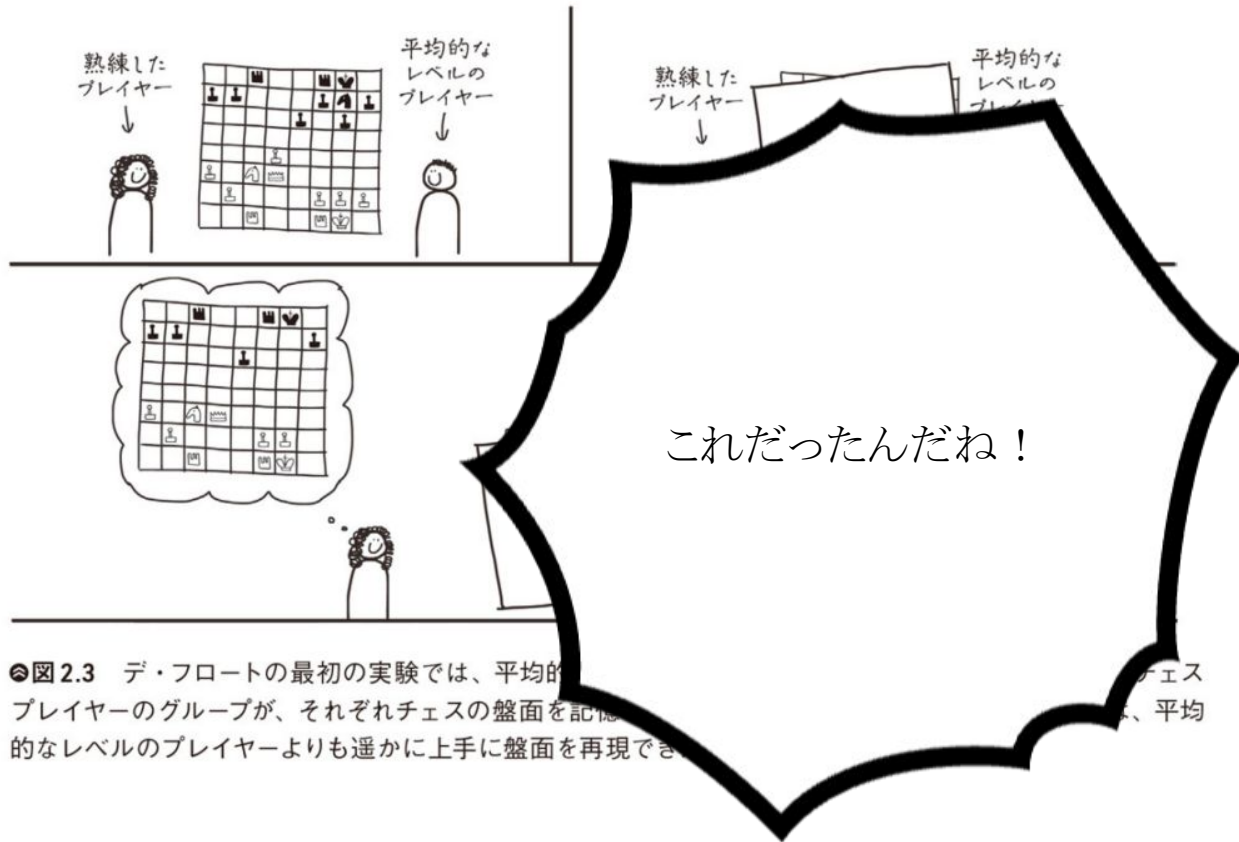
- 読み物として読みやすい文体
 - 「読みやすい」ってどういうことかを書いてる本だからかもしれない
- すごい解像度での言語化がされている
 - 熟達者のことも説明しているし、初心者の目線だとどうかも書かれている
 - ジュニアのメンターになったひとにもおすすめ
- ある種の「リーダブルコード」かも
- チームでレビューやコーディングで気をつけたいことの共通言語の本にできそう
- 読む動機となった疑問についてはすっきりしたと思う
 - 「チャンク化」！それだ！

チャンク化



●図 2.3 デ・フロートの最初の実験では、平均的なレベルのチェスプレイヤーのグループと熟練したチェスプレイヤーのグループが、それぞれチェスの盤面を記憶するように指示された。熟練したプレイヤーは、平均的なレベルのプレイヤーよりも遥かに上手に盤面を再現できた。

チャンク化



●図2.3 デ・フロートの最初の実験では、平均的なレベルのプレイヤーのグループが、それぞれチェスの盤面を記憶し、平均的なレベルのプレイヤーよりも遥かに上手に盤面を再現できた。

チャンク化

- 漠然と感じていた「このままとにかinput, outputを意識しているだけでいいのか？」というような不安が解消できた
- どうinput, outputするといいのか、を端的に説明できるキーワードを得た

Thank you!